

市議会議員 山下みきお

# 山みき通信



発行者:山下幹雄(尾張旭市議会議員)

488-0076 尾張旭市新居町山の田 3208-20 TEL:0561-52-4344

平成15年初当選。現在3期目(維新の会・福祉・改革ライン代表)

HP:yamamiki.com



BLOG THE MIKI PRESS

SNSで情報発信中!検索⇒山下幹雄



フェースブック・ツイッターそして、  
お手紙にて励ましや期待のお言葉を頂  
きました。心より感謝申し上げます。

## 議員定数削減の議員提案をしました!

議員定数 21 ⇒ 19 否決

なぜ?

尾張旭市議会の議員定数は、条例で現在21名となっています。しかし、平成24年4月より市長選挙出馬の為、2名の市議会議員が辞職し、実質19名の議員で議会運営がされているのが実態です。議員、公務員は、税金をお預かりして市民の為の仕事をさせていただいている。効率よく運営されることが、市民より求められています。実際19名の議員で、この2年間は議会運営を進めてきました。この議員数で「出来る!」事

を実証しています。21名に戻す必要があるとは、とても考えられません。そこで、現状出来ている19名の議員定数で改選を迎えるべきという提案を提出しました。そして、6月26日 定例会最終日に議案の採決がありました。

**賛成** (19人に削減する) 6

**反対** (21名そのまま) 12

で否決となりました。

## 賛成討論: 花井守行議員

私達会派(維新の会・福祉・改革ライン)は、議会の改善や改革をめざす議長諮問機関の「議会あり方検討会」において12名の議員定数でも十分議会運営が出来る事を主張し提案してきました。

しかし、大きな改革には多角的な検証も必要であることは十分理解しております。

そうした中、本市条例における21名の定数に対し2名欠員の19名の議員による議会運営は、2年間以上にわたり続けられ、市政運営的にもまた市民からもなんら不都合である旨の公式的(議会や行政等に対し)ご意見は頂いておりません。

この間に構築された議会運営の実績はその可能性を立証したものだと考えます。

そのことより、市民の理解が得られる議員定数の適正化に向けた一歩として、この削減案を可決すべきと考えています。議員各位の賛同を求めるものであります。

他賛成討論あり(フロンティアあさひ会派議員)

【概要】19名への削減で良いが、人数が減る分、議員の報酬を上げるべきだ。

## 反対討論(削減反対)には、川村議員が…(討論者は1名のみ) 削減反対の理由として

① 常任委員会の「委員数」について、1委員会7名で構成し、3委員会で21名が良い(概略)

ということです。理想はそうかもしれません、全国の地方自治体の中には本市より多い12万以上人口の都市でも15名の議員数で運営していますし、多様な運営例があります。それこそ議会改革の努力です。

② 2名減れば、市政に対し市民の声が届きにくくなる。

実際、この2年間そうだったでしょうか…?

③ 費用の問題として、市議会議員1人当たり1000万円程度の予算が計上されている。ここ十数年で26議席から21議席に減らしてきている。また、議員年金も廃止され随分削減が進んだ。と私は聞き取りました。観点が違います。現状19人で出来ていることを21人に増やすという事は、2名分で年間経費約2000万円。4年間で8000万円。この3年間における市の予算と比較し「議員(議会)の為に使うお金」が増えるという事です。議論の基準は、今現在であり、納税者・市民のはずです。(抜粋ですので議事録確認の上、次号に詳細を掲載させていただきます。)

**ご意見をお寄せください!**

表紙記載のSNSへの書き込み歓迎!